

令和5年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	学校法人 国際医療福祉大学
団 体 等 名	国道461号ラベンダーロード計画
学生代表者氏名 (所属・学年)	古川 栞名 (薬学部 薬学科・3年)
責任教職員氏名	藤井 幹雄

1. 事業名	国道461号ラベンダーロード計画
2. 実施時期	令和5年4月10日～令和6年2月29日
3. 実施場所	栃木県大田原市奥沢349～1104 付近一般国道461号道路敷
4. 事業の内容等	<p>4-1 背景</p> <p>国際医療福祉大学薬学部では地域貢献や自己研鑽、豊かな人間性の醸成に関わる目標があり、学生が主体的に地域貢献に取り組んだことを評価する評価基準が設けられている。その一環として、令和5年より学生の部活動である「PCCラボ」(Pharmacognosy Club 生薬部の意)が中心となって栃木県大田原市奥沢349～1104 付近一般国道461号道路敷(中央分離帯) 国際医療福祉大学付近にラベンダーを412本植樹する計画を進めている。本活動には、PCCラボのメンバーだけではなく、有志の学生が参加している。</p> <p>国道461号 国際医療福祉大学前の中央分離帯にラベンダーを植え、景観の向上と大田原市の観光スポットとする。美しい景観とその高いリラックス効果のある香りにより、学生並びに大田原市民の精神的健康の増進を目的とする。また、地域活動を通じ、学生の豊かな人間性や困難に打ち勝つ力など現実社会を生きる力の育成を目的とする。</p> <p>4-2. 植樹計画</p> <p>国際医療福祉大学前国道461号は大学開校時に整備され、当初は中央分離帯もアスファルトによって舗装される予定であったが、交通量や予算の関係で、その予定はなくなった(大田原市役所農林整備課農村環境対策係談)。現在は、雑草が生い茂る状態となっている。雑草が伸びた苦情があった場合には、県(土木事務所)が業者に依頼し、一部雑草の刈り取りを行っている。また、防草マットが敷かれていたが、すでにその機能が失われている。地元も有志の方が、時折雑草を刈り取るなどしているようではあるが、管理がなされていない土地であった。また、土に関しても、アスファルト敷きの予定であったため、植樹に適さない砂利が入れられている。</p> <p>国際医療福祉大学前の当該中央分離帯の幅は約10m、長さは約500mで途中には横断用道路がある。車線、横断用道路との境界から3m離れた位置に植樹を行う。縦は2m毎に1株、2列植樹していく。令和5年度は112本、3年間で412本の植樹を予定していた。</p>

4-3 活動内容

ボランティア学生募集

PCCラボのメンバーが中心として、国際医療福祉大学ボランティアセンターにもポスターを掲載し、募集をおこなった。約30名の参加者が集まった。毎月、第1,3,5土曜日を定期的活動日とし、13:00~16:30の間、活動を行った。ただし夏場は、15:00~18:00に時間を変更し、活動を行った。

植樹作業と活動

雑草の除去：除草作業は、当初は手で抜いていたが、雑草の成長が早いため、追いつかなくなった。5月~7月は草刈り機による駆除、8月以降は除草剤による駆除に変更した。枯れた雑草は、一か所に集め、堆肥化を行っている。

除草剤を検討した結果、葉から吸収される液体の薬剤と、根から吸収される粒状の薬剤を用いると効果的であることが分かった。散布に関しては、噴霧器を購入することで、作業効率が高まった。

春、夏、秋期は、定期的な活動以外にも、少人数で週2回程度の除草作業を行った。

土壌改変

直径60cm、深さ50cmの穴を開墾鋤を使って掘った。土壌に関しては、砂利や大きな石など植物の栽培には適さないため、鹿沼土、培養土、苦土石灰を入れ、ラベンダーを植樹した。

植樹

大学コンソーシアムとちぎからの支援、大田原市みどりの倍増プラン推進委員会からのラベンダーの苗212株の寄贈により当初の予定の倍のスピードで植樹が進んだ。250株の植樹を終えている。また、冬場には、ラベンダーが定着しにくいいため、100株を温室で育てている。

株分け

自前で株分けを行っている。すでに株分けによって育てた苗は、植樹しており、購入した株と同様に花を咲かせているものもある。次年度に向けて株分けを進めている。

散水

広い土地であることと、水道がないため、大学よりペットボトルに水を入れ運ぶなど、夏場の散水作業が困難であったが、国道沿いのツインカムオート様のご厚意により水道をお借りし、散水が可能になったため、作業が大幅に楽になった。また、20Lのタンクに水を入れ台車で運搬し、水やりが可能になった。現在、全体に水を散水するには100L水が必要である。

夏期は、隔日で水やりを行い、秋期、冬期も雨が降らない週は2回程度散水を行った。

ライトアップ

ラベンダーを植えたところにガーデンライトを設置し、ライトアップを行っている。現在約200のライトを設置している。

	<p>地域との連携</p> <p>大田原市役所農林整備課農村環境対策係、北金丸、奥沢、上奥沢の自治会に印刷物を送り、回覧によって活動のアピールを行った。活動時に多くの地元の方が、話しかけていただいたり、ご協力をいただいて、交流の場になっている。実際には、水道の使用、お茶等の提供、鍬などの農機具の貸し出しをいただいている。</p>
<p>5. 事業の成果と今後の課題</p>	<p>5-1. 事業成果</p> <p>ボランティア活動としては、定期的な活動が24回実施され、多い時では、12名、少ない時には2名程度の参加者で平均的には5名程度の参加者で活動がなされた。定期的な活動以外にも、日ごとの水やりなどにもボランティア学生が活動し、約30名の学生が本ボランティアに登録している。</p> <p>当初は雑草の成長に、除草作業が全く追いつかなかったが、地元の有志、および大田原土木事務所の協力もあり、雑草駆除が進んでいる。予定している場所に関しては、概ね除草作業が終わり、枯草の堆肥化などを進めている。</p> <p>直径60cm、深さ50cmの穴を掘り、鹿沼土、培養土、苦土石灰を入れ、植樹用の穴を掘っている。現在植樹250株を植樹し、さらに50の穴を掘っている。すでに250株のうち、50株は定着し、花を咲かせている。次年度に向けて株分けを進めている。本補助金で購入された培養土、鹿沼土のおかげで、予定の2倍以上のスピードで植樹が進んだ。ラベンダーを植えたところにガーデンライトを設置し、ライトアップを行っている。現在約200のライトを設置している。</p> <p>大田原市役所農林整備課農村環境対策係、北金丸、奥沢、上奥沢の自治会に印刷物を送り、回覧によって活動のアピールを行った。活動時に多くの地元の方が、話しかけていただいたり、ご協力をいただいて、交流の場になっている。</p> <p>冬場は雑草が茂っていた中央分離帯の雑草が無くなり、ラベンダーが列をなしており、該当箇所の景観は、大幅に向上した。</p> <p>また、地元の酒蔵である渡邊酒造の見学と、ラベンダー酒開発に向けた話し合いや、ラベンダーのシロップを使ったケーキの試作などを行い製品化への検討も行うことができた。</p> <p>ホームページの作成や次年度のボランティア募集なども進めている。</p>

5-2. 今後の課題

ボランティア学生の募集、さらなる植樹のための資金確保が近々の課題である。また、現在2mおきに植樹しているが、間にもう1株植え、1m置きに植樹していく。ラベンダーの商品開発などを行い運営基盤を作っていく必要がある。

除草に関して、除草剤をうまく利用することで、雑草を抑え込むことができることが分かったので、3月と8月に粒上の除草剤を散布すると同時に、4月、7月、9月、11月には液体の除草剤を散布し、一年草、及び多年草をほぼ除去していく予定である。

6. 謝辞

本国道461号ラベンダーロード計画にご援助いただきました大学コンソーシアムとちぎ様に深く感謝申し上げます。ラベンダーの苗を提供いただきました大田原市みどりの倍增プラン推進委員会にも深く感謝申し上げます。

国際医療福祉大学 ボランティアに参加していただいた学生、ボランティアセンター、総務課、学生課、管理課の職員の皆様、大田原市役所農林整備課、政策推進課、上奥沢自治会、奥沢自治会、北金丸自治会、ツインカムオート、天野建設株式会社、渡邊酒造、近隣の皆様に感謝を申し上げます。

7. 資料

ラベンダーロード計画ホームページ

<https://sites.google.com/g.iuhw.ac.jp/461/>

大学大田原キャンパスHPでの活動紹介

<https://otawara.iuhw.ac.jp/topics/2023/12/14874.html>

添付資料

活動記録（報告書写真）

- (注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。
2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。
報告書（添付書類を含まず）はA4判3枚以上5枚以内にまとめてください。
3. この報告書は、各関係機関等へ公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を予定しており、次年度以降の学生活動支援事業に役立てていきます。